

2017年12月13日

日本ケミファ株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目2番3号

TEL:03-3863-1211(代表) / FAX:03-3864-5940

ラベプラゾールナトリウム錠 10mg「ケミファ」の 用法及び用量の追加承認に関するお知らせ

日本ケミファは本日12月13日、ラベプラゾールナトリウム錠 10mg「ケミファ」(2010年11月薬価収載)について、「用法及び用量」の一部変更が承認され、新用量が追加されましたのでお知らせいたします。

◆追加承認後の「用法及び用量」(下線部分が追加箇所)

用法及び用量

【用法及び用量】

胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison 症候群

省略(現行通り)

逆流性食道炎

<治療>

逆流性食道炎の治療においては、通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして1回10mgを1日1回経口投与するが、病状により1回20mgを1日1回経口投与することができる。なお、通常、8週間までの投与とする。また、プロトンポンプインヒビターによる治療で効果不十分な場合、1回10mg又は1回20mgを1日2回、さらに8週間経口投与することができる。ただし、1回20mg1日2回投与は重度の粘膜傷害を有する場合に限る。

<維持療法>

再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして1回10mgを1日1回経口投与する。また、プロトンポンプインヒビターによる治療で効果不十分な逆流性食道炎の維持療法においては、1回10mgを1日2回経口投与することができる。

以下省略(現行通り)

以上